



雪と楽しむ！大倉山

2月7日(日)、大倉山ジャンプ競技場(宮の森1274)で「中央区ウィンタースポーツフェスタ^{イン}大倉山」(同実行委員会主催)が開催され、親子連れなどをはじめ、多くの市民や観光客が雪遊びを楽しみました。

この日会場で一番人気があったのは、普段は入ることのできないランディングバーンを利用した「チューブすべり」。参加者は、滑り降りるスピードやほおに当たる冷たい風を楽しみながら歓声を上げていました。

ほかにもスノーシューやスノースカートなどのウィンタースポーツ体験、宝探しゲームといった雪遊びが用意され、参加者は楽しい冬の日を過ごしました。



▶スピードに乗って



▶スノーシューで探検！



▶スノースカートを体験！

守れ！赤れんが

1月26日の「文化財防火デー」を前に、1月25日(月)、北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎・北3西6)で、北海道庁と中央消防署が合同で消防総合訓練を行いました。

この日は、地下1階からの出火を想定し、屈折車、はしご車での救出訓練、放水訓練などが行われました。



▶バルコニーからの救出



▶真剣そのもの

男性も料理に挑戦！

2月5日(金)、中央保健センター(南3西11)で中央区主催の「男性の料理教室～男子厨房^{ちっぴぼっ}に入ろう」が行われ、区内の男性約20人が参加しました。

この日、エプロンと三角きんを身に着けた参加者は、グループで協力しながら、ブリの照り焼き、ハウレンソウのごまあえなど計4品を作り上げました。

冬の震災に備えて

1月18日(月)、円山まちづくりセンター(北1西23)で円山町内会連合会主催の「冬の震災体験」が行われ、地域住民や関係機関の職員など約70人が参加しました。

この日は、屋外でバケツリレーや落雪による雪山からの救助体験を行ったほか、屋内で心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い方法などについて学びました。

参加者は、厳冬期の災害に備え、真剣に訓練に取り組んでいました。



▶互いに声を掛け合って